

中 国

繊維景況

高付加価値化への対応が重要-中国化繊協会

2010年の中国化繊業界は全ての面において記録的な高成長となった。2011年上半期の収益も好調が続いているが、中国化繊工業協会の端小平会長は、今年下半期の業況は若干厳しくなると見通しを示している。

端会長は今年前半の好調の要因を、前年が低いベースであること、綿花価格の大幅上昇により化繊需要が拡大したこと、をあげている。しかし、今年後半は原料価格上昇、低炭素社会、環境保全への要求の高まりなどから、化繊企業は多くの課題に直面していると指摘している。

2011年は中国の第12次五か年計画の初年、「繊維業界の調整と振興計画」の最後の1年にあたる。中国の化繊生産は世界の60%以上を占めているが、新製品の開発能力は不足している。これについては、端会長は、国内繊維産業の急速な成長で、品質より数量的な需要が多く求められたこと、中国では、コストと規模が収益を保障する状況にあり、企業は規模拡大に資金を投じていること、日欧米などの先進国は新製品開発に優位性があり、中国企業はこれを模倣するため、国内企業は研究開発の能力が不足していること、差別化、高付加価値製品は主に輸出需要が中心であり、顧客や商社から品質/規格要求があったが、こうした受身的な研究開発では、開発力が不足する、という分析を行っており、今後10年、世界の化繊生産がますます中国に移転する中で、企業間の競争が激化し、規模やコストで差がつかない状況が予想される。こうした中、競争は製品の差別化、高付加価値で起こることが予想され、化繊企業が研究開発に注力することは将来的な競争力確保のため重要である。

また端会長によると、中国の化繊産業は第11次五か年間に年平均成長率13%を維持してきたが、第12次五か年間の成長率は6%前後に調整、2015年の化繊生産は4,100万トと見込まれる。中国の1人当たりGDPは4,000ドルに達し、生活レベルが高まるに伴い、内需は安定した伸びを維持し、中産階級の消費は中高級、個性化製品への需要が強まる。化繊業界はこうした変化に対応する必要があり、中でも、産業用繊維品業界の需要拡大の期待が大きく、今後5年の需要増加量は500万ト、そのうち化繊は450万トを占める見通しである。さらに、低炭素社会は第12次五か年間の化繊産業の発展キーワードであり、中国の再生ポリエステル繊維生産のさらなる発展の可能性が高まっている。再生ポリエステルの生産能力は600万ト/年、生産量は約400万トで世界全体の80%を占めている。ここ数年、品質レベルも高まっているという。

化繊設備

Lenzing、南京工場増設完了、生産能力倍増へ

オーストリアの Lenzing グループは、江蘇省・南京の子会社である蘭精南京繊維有限公司の工場で新ラインの稼働を開始した。これにより南京工場のレーヨン繊維生産能力は年産 14 万トに倍増した。

新ラインの生産能力は 6 万トで、2011 年第 4 四半期初めにフル稼働の予定。主にアジア市場向けに、繊維製品及び不織布用レーヨン繊維を生産する。南京工場は Lenzing グループで 3 番目に大きな工場である。

現在同社は設備増強計画を実施中で、セルロース繊維全体の総生産量をグループ全体で 2010 年末の年間 71 万トから、2015 年までに 110 万トに拡大するとしている。南京工場の増設もその一環で、人口増加、豊かさやサステナビリティを求める声の高まりに伴う高品質繊維の需要拡大に対応する。

タイ/インドネシア

企業動向

Indorama、リサイクル工場及び複合繊維へ投資

Indorama Ventures (IVL) が、タイ及びインドネシアで 8,500 万ドルを投じる新規投資計画を明らかにした。

PET リサイクル工場建設 (タイ)

IVL は、子会社の Indorama Polyester Industries (Nakhon Pathom) のポリエステル繊維および糸工場においてリサイクル工場の建設に着手した。2012 年第 4 四半期の稼働を目指す。年間 36,000 トの廃棄または使用済み PET ボトルを、約 28,500 トのポリエステルにリサイクル可能。同社のリサイクル工場建設は、米国に続いて 2 つ目である。

バイコンポーネント繊維生産 (タイ・インドネシア)

IVL は、タイの Rayong 工場で、年産 16,000 トの衛生用途向けバイコンポーネント繊維を生産予定。日本企業と技術提携し生産する。2012 年第 2 四半期までの生産開始を目指す。また、インドネシアの子会社 Indorama Ventures Indonesia (IVI) の Tangerang 工場で、年産 16,000 トの高品質バイコンポーネント糸を生産予定。2013 年第 1 四半期稼働を目指す。

IVI は独自の単一工程で作るバイコンポーネント糸 FINNE を有し、2 段階工程を採用する他社に対し競争力があり高い市場占有率を有する。同社はドレープや肌触りなどユニークな特性を持つ FINNE (INOV) と呼ばれる次世代バイコンポーネント糸を開発している。FINNE シリーズは機能性繊維ラインでアウターウェアなどに使われている。

ガスエンジンプロジェクト（インドネシア）

環境対応の一環として、インドネシアで 670 万ドルを投じ、石油に代わってより環境に優しい天然ガスを使用し、二酸化炭素排出量を年間 8,000 トン削減する。

米 国

通 商

韓台産 PSF に対する AD 措置再延長へ

米国際貿易委員会（USITC）は、台湾、韓国産のポリエステル短繊維の一部（3d 以上、カット長 25-127mm）に実施している反ダンピング（AD）措置について、再延長調査（サンセットレビュー）を行った（海外速報 893 号 2011/6/20）結果、実質的な損害が継続し、または再発するおそれがあるとして、AD 措置の延長を決めたことを明らかにした。

以 上